

**明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第1回 協議会
議事要旨**

1 開催日時：平成30年7月23日（月）11:00～13:10

2 開催場所：明治大学黒川農場 会議室

3 出席者：[座長] 針谷農場長

[部会員] 小清水委員、玉置委員、佐倉委員、柳委員、横山委員（松原委員代理）市
川委員、熊澤委員、山元委員、鈴木委員、磯田委員、山口委員

[事務局] 麻生区役所まちづくり推進部企画課：安藤企画課長、大條主任
川崎市経済労働局都市農業振興センター農地課：二郷農地課長、地引保全
係長

建設緑政局緑政部みどりの協働推進課：今井担当課長、緒方担当係長
コンサルタント（(株)UR リンケージ 牧野、岸本、會田）

4 議事〈主な意見〉

(1) これまでの成果

〈全体にかかるもの〉

- ① ゴミの投棄は、地域を訪れる人が多くなったことで改善している。
- ② 竹炭シンポジウムは評判が良かった。
- ③ 協議会で仕掛けたものが、少しずつ効果を生んでいる。
- ④ 農家の協力のもとアスパラガスが出荷出来た。今後も取り組みを補強していきたい。
- ⑤ アスパラガスを値崩れせずに販売出来た。
- ⑥ 竹あんどんづくりでは、農家、非農家での地域の繋がりが出来てきている。
- ⑦ そろそろ協議会から離れ、地元で定着する活動が現れるのでは。

(2) 今後の課題

〈全体にかかるもの〉

- ① 町内会や農家、近隣企業と連携を深め、様々な取り組みを行えると良い。
- ② 一つの組織が情報を取りまとめ、横の連携を図りたい。
- ③ 若い世代等への発信方法の検討など、PRの方法に工夫が必要。

〈農作物等研究専門部会にかかるもの〉

- ① アスパラガスに関する販売方法や、高品質化に関する検討を行いたい。
- ② アスパラガスの栽培及び販売を市域全域へ拡大したい。そのためには、支援方法の検討が必要。

〈地域活性化検討専門部会にかかるもの〉

- ① 明大への行き方や、水路の危険性の明示など、サイン等で来訪者への対応が必要。

〈里地里山保全利活用専門部会にかかるもの〉

- ① 活動が広がりを見せている中で農家の所有する場所だけでは限界。

(3) 平成30年度の取り組み内容について

《農作物等研究専門部会》

- ① 昨年度と同様に実施する。
- ② 意見交換会は、これから日程を調整行う。

《地域活性化検討専門部会》

- ① グリーンツーリズムは21日に実施。今後、当日子どもが描いた絵をセレサモスに展示するとともに、黒川地域の連携について周知する。
- ② アートプロジェクトは和光大学と調整中。収穫祭時期に展示と散策ツアーを予定している。

《里地里山保全利活用専門部会》

- ① 竹あんどんづくりは、対象年齢及び周知範囲を広げることで参加者を増やしたい。
- ② 保全活動体験は、収穫祭に合わせ周知の時期を早めることで参加者を増やしたい。

以上